



廃棄ビニール傘のアップサイクル
「UPCYCLE × CREATIVE」でゴミという概念のない社会をデザイン
octangle合同会社



企業概要・プロジェクト概要

・「UPCYCLE × CREATIVE」を掲げ、2022年に誕生したアップサイクルブランド。独自開発技術とデザインの力で、廃棄物を「欲しくなる価値」へと再生。2025年大阪・関西万博への参画や「おおさか環境賞」準大賞など、関西を拠点に環境と経済を両立させる。
・年間約8,000万本廃棄される「ビニール傘」を主原料とした資源循環プロジェクト。素材開発から製品デザイン、産官学福の共創ネットワーク構築を行い、「ゴミ」の概念を書き換える社会実装に取り組む。



「駅の忘れ物の傘」が「買い物かご」に環境に優しい未来志向の循環型モデル

ecute × octangle
Akihabara



大阪・関西万博でワークショップ・アート展示・ライブパフォーマンスを実施 octangle共創チーム

取組効果（経済面・環境面）

【資源化】リサイクル困難な傘を資源化。焼却・埋め立てを減らし、CO2削減に寄与。

【変革】使い捨てを「愛着」へ。消費者の意識変容を促進。

【価値創出】独自素材による高付加価値化で百貨店やJR西日本グループ等との連携を実現

【福祉連携】ものづくりの作業を福祉作業所と連携。就労移行支援と雇用創出に貢献。



何をRethinkしたか

～モノの使い方や捉え方を見直したポイントやアイデア～

- ・「負の遺産」を「唯一無二のテクスチャ」へ昇華：廃棄ビニール傘を、光の反射や層の厚みによって表情を変える独自素材へと再資源化に成功。
- ・「サステナブル＝我慢」からの脱却：「環境に良いから買う」という義務感ではなく、「美しい・カッコいいから買う」という、人間の直感的な欲望を肯定するデザイン・ストーリー・アプローチへ再定義した。

どのようにDesignしたか

～ポイントやアイデアをどうカタチにしたか～

- ・独自の多層圧着技術：洗浄・解体した傘の生地を職人の手で重ね、熱と圧力で一体化。水や汚れに強く、かつアート作品のような独特の透け感を持つ再生素材「octangle生地」を開発。
- ・ライフスタイルへの浸透デザイン：台形フォルムが美しい「Trapezoid bag」や、枯れないお花「umbrella leaf」など現代のライフスタイルやファッションに溶け込む洗練されたプロダクトへ昇華。
- ・共創のプラットフォーム化：産官学福が連携する「循環の導線」をデザイン。大阪・関西万博への参画や総合地球環境学研究所、自治体との共創イベント等を通じ、社会全体で資源を回す仕組みを具現化。

プロジェクト関係者・役割



役割：プロデュース
企画開発・デザイン・
商品開発・販売



役割：傘の提供
企画・構想のヒントになる
機会の提供など



役割：傘の解体・洗浄



花方/華道家 生駒敦

役割：クリエイティブディレクション・アート制作

ここに記した以外にも、多くの企業・学生・アカデミア・自治体の皆様との共創によって、octangleのプロジェクトは支えられています。

プロジェクトに込めた想い



“UPCYCLE × CREATIVE”で「ゴミという概念のない社会」を実現します。

octangle代表：水谷哲朗

所属：octangle合同会社

役職：代表

氏名：水谷哲朗

プロジェクトサイトURL

<https://www.octangle.jp/p/00010>